

# L'e レピア新聞

L'epia

平成27年 夏号

発行 平成27年7月1日

株式会社レピア

大阪府中央区島町1丁目4-8

カノヤビル5F

TEL 06-6966-6616 FAX 06-6966-6617

http://www.lepia.co.jp

E-mail: y-kanai@lepia.co.jp

## セラミド

セラミドとは、人間の肌にもともとある成分のひとつで、肌細胞の間に存在し、水分や油分をため込んでくれる、優秀な保湿成分です。同じような働きをする成分はヒアルロン酸やコラーゲンなど有名なものがいくつもありますが、セラミドの最大の特徴は、肌のバリア機能として働く『細胞間脂質』の約半分を担っているということ。



セラミドは肌表面に水分と油分のバリアを張り巡らせ水分蒸発を防ぐとともに、外的刺激が肌の奥へ伝わるのを防ぐのです。セラミドが不足すると肌は紫外線や細菌に弱くなり、荒れや乾燥を引き起こしやすくなってしまいます。その状態が長く続けば、重度の敏感肌やアトピーを発症する可能性もあります。バリアは肌表面に近いところで機能していますから、体の内部からつくり出すよりは化粧品

などで外側からの塗布が効果的。また、お肌内部にあるヒアルロン酸やコラーゲンの保湿力を、強力にサポートする役目も果たしてくれます。さらに、もともと人体に存在する成分なので、すでに敏感になっている肌でも刺激物と認識されにくいんです。セラミドを補給してバリアを回復させてあげれば、ひどく荒れていた肌も徐々に健康を取り戻すことができるんですよ。

## シスチン

シスチンには次のような作用があることがわかっています。  
①メラニンを作らせない  
②生まれた黒色メラニンを途中で肌色メラニンに変える  
③できてしまったメラニンを排出する

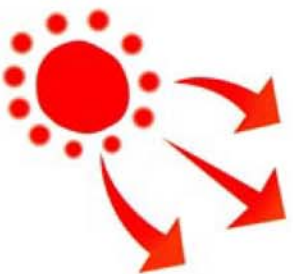
最近のニュースでは、アルコールから生じるアセトアルデヒドは胃に悪影響を及ぼしますが、



## 紫外線

もうすぐ梅雨が明けて日差しが強い毎日が続きます。夏になって日本女性の気がすることと言えば、紫外線です。日本では「色白は七難隠す」と言われ、白い肌が良いとされているため、日傘やアームカバー、サンバイザーなどで日焼けを防ぐ女性が多いです。

《紫外線の影響》  
肌のシミや皺の原因となる紫外線のUV-AとUV-Bは、お肌の内側でそれぞれまた違った影響をおよぼします。UV-Aはお肌の色を黒くするサンタン（日焼け）を招き、UV-Bはサンバーン（赤い水ぶくれのような状態）を引き起こします。肌タイプによっても紫外線の影響が異なります。



の症状に個人差はありますが、サンタンもサンバーンもお肌の

東北大学大学院医学系研究科の飯島克則講師らのグループによると、アルコールとシスチンを同時に胃に入れることで、アセトアルデヒドの濃度はお酒に強い人で約67%、弱い人でも約60%低下させ、アセトアルデヒドを無毒化する作用を確認したと報じています。

より美しく、健康に！

キャンペーンのご案内

七月一日～七月三十一日

『ハーブ染の詩』

染めやすく髪に艶がでる

業界初の2剤式天然染料

ブラック  
ブラウン

4500円 ↓ 4050円 (税抜き)

10%OFF  
2個以上で送料なし



白さを鈍らせる要因です。

肌のしみ…紫外線を浴びるとメラノサイトという細胞が反応してメラニン色素が作られます。これがしみです。

しわ…紫外線が真皮に達すると肌を守り肌の水分を維持するコラーゲンやエラスチンにダメージを与えるので、肌は弾力を失いしわができます。

肌荒れ…紫外線は肌から水分を蒸発させて乾燥させます。その結果、肌のバリア機能が弱まり、肌荒れやかぶれを起こしやすくなります。また角質が厚くなります。

ニキビ…紫外線を浴びた皮脂（肌の油分）は酸化（老化の原因、活性酸素が発生）し、これが毛穴を塞ぐと、にきびの一手前、コメドができやすくなります。

このように、

紫外線が引き起こす影響やダメージはそれだけではないのです。活性酸素を発生させたり、皮膚の免疫力を低下させるなど、さまざまなたラブルも誘発します。



同じ商品を3個お買い上げで

25%OFF・送料なし

3個お買い上げ毎に

半月分をプレゼント！

『真白美』 美肌追求サプリ

内側から紫外線対策

セラミド・シスチン配合

10000円 ↓ 7500円 (税抜き)



『アクティビュー』 関節痛用サプリ

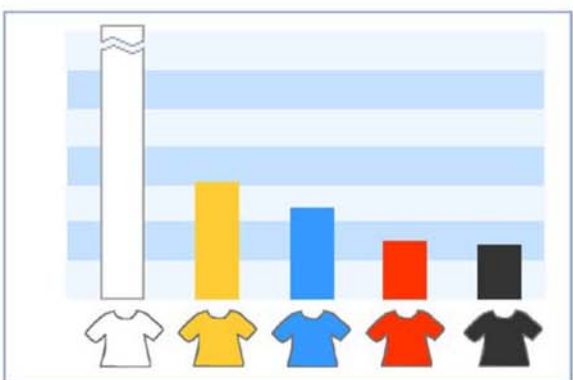
『歩く・立つ・座る』と言った日常の動きをしつかりサポートします。

12000円 ↓ 9000円 (税抜き)



《紫外線の透過率》

↑透過率



右のグラフは色による紫外線の透過率の違いを表したグラフです。

紫外線量が増える初夏から夏にかけては、同時に暑くなる時期でもありますが、涼しげな白や淡い色の着る人が多いですが、紫外線対策という意味では、白よりも黒や濃紺など濃い色のほうが良いのです。

もちろん素材やUV対策が施された服であるかどうかということも、紫外線透過率を左右します。